



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月27日

上場取引所 東大

上場会社名 日本電気硝子株式会社
 コード番号 5214 URL <http://www.neg.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 有岡 雅行
 (氏名) 松本 元春

TEL 077-537-1700

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	264,845	△11.7	59,122	△40.0	54,420	△43.5	27,481	△53.0
23年3月期第3四半期	299,881	27.6	98,597	57.5	96,374	68.6	58,414	65.7

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 21,120百万円 (△63.7%) 23年3月期第3四半期 58,115百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	55.25	—
23年3月期第3四半期	117.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	705,418		482,064			67.6
23年3月期	692,622		468,037			66.9

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 477,002百万円 23年3月期 463,709百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	7.00	13.00
24年3月期	—	7.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00 ～8.00	14.00 ～15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	337,000 ～347,000	△13.6 ～△11.1	61,500 ～66,500	△47.6 ～△43.4	56,500 ～61,500	△50.6 ～△46.2	28,500 ～31,500	△58.5 ～△54.1	57.30 ～63.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は添付資料3ページ1.当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想に関する定性的情報に記載のとおりレンジ形式により開示しています。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料4ページ2.サマリー情報(その他)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	497,616,234 株	23年3月期	497,616,234 株
24年3月期3Q	203,947 株	23年3月期	166,179 株
24年3月期3Q	497,425,525 株	23年3月期3Q	497,461,559 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、当社が合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。詳細は添付資料3ページ1.当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) （参考）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

[第3四半期累計期間]

①概況

世界経済は、米国で緩やかな景気回復の兆しが見えるものの、欧州では政府債務問題の一進一退により景気が停滞し、中国でも成長のペースが鈍化するなど、予断を許さぬ状況が続きました。国内においても、円高等による輸出の減少や個人消費の伸び悩み、厳しい雇用情勢などを背景に景気が足踏み状態を続ける中、当社を取り巻く環境は、得意先の生産が大幅に下方修正されるなど、日を迫って厳しさを増しました。

このような中、第1四半期（平成23年4月1日～6月30日）の業績は緩やかな回復基調を示したものの、第2四半期（同7月1日～9月30日）は事業環境が厳しくなり業績が減速しました。第3四半期（同10月1日～12月31日）に入ると多くの製品分野で状況がさらに悪化し、業績が低下しました。この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上・利益ともに前年同期を下回りました。

②経営成績

	前第3四半期累計期間 (22/4～22/12) (億円)	当第3四半期累計期間 (23/4～23/12) (億円)	増減 (%)
売上高	2,998	2,648	△12
営業利益	985	591	△40
経常利益	963	544	△44
純利益	584	274	△53

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

(製品別売上高)

報告 セグメント	区分	前第3四半期累計期間 (22/4～22/12)		当第3四半期累計期間 (23/4～23/12)		増減	
		金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	比率 (%)
ガラス事業	電子・情報用ガラス	2,533	84	2,141	81	△392	△15
	その他用ガラス	465	16	506	19	41	9
合計		2,998	100	2,648	100	△350	△12

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

(売上高)

・電子・情報用ガラス：

薄型パネルディスプレイ用ガラスの販売は、第1四半期に緩やかな回復に転じましたが、第2四半期には得意先の生産調整の影響を受け減速しました。第3四半期に入り、液晶用基板ガラス需要で一時的な持ち直しの兆しが見られたものの本格的な回復にはまだ遠く、販売全体としては勢いに欠ける結果となりました。光関連ガラスの販売は、当初は新興国の通信インフラ需要を背景に底堅く推移しましたが、第2四半期以降は調整局面が続きました。イメージセンサ用カバーガラスの販売は、第3四半期にはデジタル一眼カメラ向けが伸び、緩やかな回復を示しました。太陽電池用基板ガラスの販売は順調でした。

・その他用ガラス：

ガラスファイバは、自動車部品向けの海外需要が堅調で、能力増強分を拡販することにより販売は前年度を上回るペースで進捗していましたが、昨夏より調整局面に入り、販売が減速しました。耐熱、建築その他の事業領域では、住宅など関連市場の回復のテンポが鈍く、また生産面で低調な分野も見られたことから、全体として販売が伸び悩みました。

(損益面)

販売の減速や価格の下落をはじめ、在庫削減のための生産調整や設備改善工事等の実施による稼働の減少などが損益に大きく影響しました。これらに減価償却費や原燃料コストの増加などが加わり、利益を圧迫しました。

また、カラーブラウン管用ガラスに係る競争法関連損失やプラズマディスプレイ用ガラスの設備改修取り止めに係る費用などを特別損失に計上したほか、税率改正に伴う繰延税金資産の取り崩しを行いました。

上記により、利益は前年同期を大きく下回りました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

	23年3月期 (22/4～23/3) (億円)	24年3月期 (23/4～24/3) (億円)	増減 (%)
売上高	3,901	3,370～3,470	△14～△11
営業利益	1,174	615～665	△48～△43
経常利益	1,142	565～615	△51～△46
純利益	686	285～315	△58～△54

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

第4四半期(平成24年1月1日～3月31日)も、現下の厳しい事業環境が続くと予想しています。

電子・情報用ガラスでは、液晶用基板ガラスの需要は概ね第3四半期並みを見込みますが、厳しい市場環境が続く中で価格下落が懸念されます。一方で、薄板の出荷比率がさらに高まるものと予想しています。生産改善によりコストメリットを追求するとともに販売の底上げを図っていきます。プラズマディスプレイ用ガラスは、需要の急減により厳しい事業運営が続いていますが、今後のマーケットの状況や将来に対する見通しによっては、事業の局面がさらに悪化することが懸念されます。その他用ガラスでは、ガラスファイバは、今年度一杯は調整が続くと予想しています。住宅・建築その他分野は、なお低調な状況が続くと思われま。

費用面については、減価償却費や原燃料コストなど諸費用の増加が見込まれ、また為替の動向や在庫削減のための稼働調整の継続などが損益に悪影響を与えることが予想されます。当社としては、需要動向に則した稼働を行う中で、生産の安定を図るとともに費用の圧縮に努め、収益の確保に全力を上げていく所存です。

平成24年3月期の連結業績予想は、上表のとおり前期実績を下回る見込みです。

なお、当社を取り巻く国内外の情勢は変化が激しく、かつ、そのテンポは非常に速いため、先行きの業績を的確に予想することが困難な状況にあります。つきましては、平成24年3月期の連結業績予想をレンジ形式により開示させていただきます。諸要素が当社の想定(期初計画)よりも上振れる(好転する)形で推移した場合はレンジの上限に近づき、逆に下振れる(悪化する)形で推移した場合はレンジの下限に近づくものと予想しています。

(業績予想の開示について)

証券取引所が定める適時開示基準に基づく開示に加え、投資家の皆さまに、より迅速・適切な業績情報をご提供するため、以下の要領で当期業績見込みをお知らせします。

予定時期	当期業績見込み(累計ベース)(数値開示)
6月下旬	第1四半期
9月下旬	第2四半期
12月下旬	第3四半期
3月下旬	通期

なお、四半期ベースでの次期見通しについては、四半期業績発表の際に決算短信上で開示します。

本資料に記載されている業績予想は、当社が合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素としては、世界の市場における経済情勢、貿易規制などの各種規制、主要市場における製品需給の急激な変動、資本市場での相場的大幅な変動、ドル・ユーロなど対円為替相場や金利の大幅な変動などの金融情勢、急激な技術変化などが含まれますが、これ以外にも様々な要素があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当第3四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	118,808	106,748
受取手形及び売掛金	64,357	54,637
商品及び製品	24,733	29,310
仕掛品	1,585	2,892
原材料及び貯蔵品	19,054	19,223
その他	10,907	11,982
貸倒引当金	△539	△101
流動資産合計	238,908	224,693
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	319,105	335,927
その他（純額）	98,317	109,488
有形固定資産合計	417,422	445,415
無形固定資産		
投資その他の資産	1,340	1,513
その他	35,222	34,052
貸倒引当金	△271	△256
投資その他の資産合計	34,950	33,796
固定資産合計	453,714	480,725
資産合計	692,622	705,418
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,757	45,437
短期借入金	41,534	58,399
未払法人税等	15,462	2,530
その他の引当金	147	113
その他	42,425	53,154
流動負債合計	142,326	159,635
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	29,738	6,816
特別修繕引当金	29,766	34,297
その他の引当金	1,679	1,514
その他	1,073	1,089
固定負債合計	82,257	63,718
負債合計	224,584	223,353

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,155	32,155
資本剰余金	34,357	34,355
利益剰余金	403,355	423,872
自己株式	△233	△271
株主資本合計	469,634	490,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,139	223
繰延ヘッジ損益	△32	△17
為替換算調整勘定	△9,032	△13,315
その他の包括利益累計額合計	△5,925	△13,110
少数株主持分	4,328	5,062
純資産合計	468,037	482,064
負債純資産合計	692,622	705,418

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	299,881	264,845
売上原価	183,063	184,406
売上総利益	116,818	80,438
販売費及び一般管理費	18,221	21,316
営業利益	98,597	59,122
営業外収益		
受取利息	171	101
受取配当金	621	430
その他	1,092	764
営業外収益合計	1,885	1,297
営業外費用		
支払利息	824	718
固定資産除却損	1,732	1,032
休止固定資産減価償却費	662	1,425
仕損品損失	44	1,266
その他	845	1,555
営業外費用合計	4,108	5,999
経常利益	96,374	54,420
特別利益		
特別修繕引当金戻入額	3,966	687
投資有価証券売却益	—	1,478
その他	523	7
特別利益合計	4,489	2,173
特別損失		
固定資産除却損	4,683	2,259
競争法関連損失	—	4,753
その他	1,343	855
特別損失合計	6,026	7,868
税金等調整前四半期純利益	94,837	48,724
法人税等	35,757	20,402
少数株主損益調整前四半期純利益	59,079	28,321
少数株主利益	665	839
四半期純利益	58,414	27,481

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	59,079	28,321
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△789	△2,916
繰延ヘッジ損益	4	14
為替換算調整勘定	△180	△4,299
その他の包括利益合計	△964	△7,200
四半期包括利益	58,115	21,120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	57,487	20,296
少数株主に係る四半期包括利益	627	823

(3) (参考) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	94,837	48,724
減価償却費	36,602	38,960
売上債権の増減額 (△は増加)	6,845	9,094
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,091	△6,776
仕入債務の増減額 (△は減少)	10,504	3,634
法人税等の支払額	△53,488	△32,315
その他	4,665	11,397
営業活動によるキャッシュ・フロー	94,875	72,719
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△70,625	△68,025
その他	6,125	△880
投資活動によるキャッシュ・フロー	△64,500	△68,906
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長短借入金及び社債等の純増減額 (△は減少)	△3,240	△6,015
配当金の支払額	△5,968	△6,965
その他	955	△312
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,252	△13,293
現金及び現金同等物に係る換算差額	△45	△280
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	22,077	△9,761
現金及び現金同等物の期首残高	91,667	116,366
現金及び現金同等物の四半期末残高	113,745	106,605

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。